

ICボルドーは慣行ボルドー液を使いやすくした製剤です!


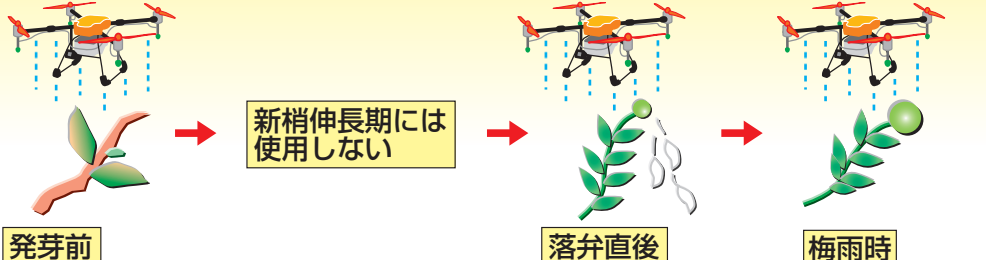



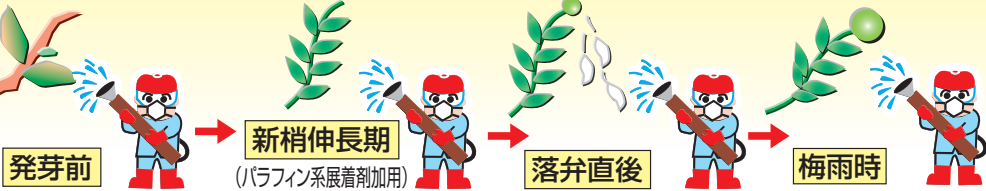

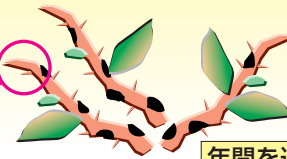


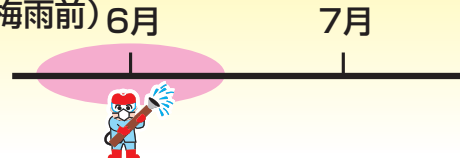



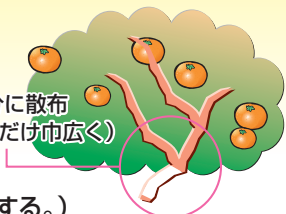
農水省登録
第18645号

ICボルドー

660

1. 取扱簡単、水で薄めるだけで即OK。
2. 高品質微粒子設計でムダなく、ムラなく、目詰りなし。
3. 付着力抜群、薬効の持続性が長い。

散布例 ( 散布適期) ( 散布適期)

<p> かんきつ (ドローン)</p> <p>NEW</p> <p>かいよう病 2倍</p>	 <p>発芽前 → 新梢伸長期には使用しない → 落弁直後 → 梅雨時</p>
<p> かんきつ</p> <p>かいよう病 25~200倍</p> <p>黒点病 80倍</p> <p>そうか病 80倍</p>	 <p>発芽前 → 新梢伸長期 (パラフィン系展着剤加用) → 落弁直後 → 梅雨時</p>
<p> かんきつ (ゆず)</p> <p>幹腐病 50倍</p>	 <p>発芽前 → 新梢伸長期 (パラフィン系展着剤加用) → 落弁直後 → 梅雨時</p>
<p> かんきつ (ゆず)</p> <p>幹腐病 2倍</p>	<p>幹腐病防除に高濃度で使用。 葉や果実にかからないよう注意。</p>  <p>年間を通じて、病斑部への処理</p>
<p> かんきつ</p> <p>カタツムリ類 </p> <p>25~100倍</p>	<p>(梅雨前) 6月 7月</p>  <p>全面散布 梅雨前に全面に散布する。(枝や幹にも十分に散布する。)</p>
<p> かんきつ</p> <p>ナメクジ類 </p> <p>25~100倍</p>	<p>(梅雨前) 6月</p>  <p>主幹散布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナメクジは毎日巣に帰るので通り道をふさぐ。 ・ハウス栽培や、果実に薬剤をかけたくない時期でも処理できる。 ・新梢伸長期や夏場等でも処理できる。 <p>全面散布 梅雨前に全面に散布する。(枝や幹にも十分に散布する。)</p> <p>この部分に散布 (出来るだけ広く)</p> 

地域により又、気象条件等により散布時期は相違しますので、詳細は最寄のJA等関係指導機関にお尋ね下さい。

ICフィルムの希釈方法

ICフィルムは粘度のある懸濁液ですので、まず箱からフィルム袋を取り出し、繰り返しよくもみほぐしてください。

①保護眼鏡、ゴム手袋
防除衣、ゴム長靴を
着用。



②凹凸のない平らな所で
ICフィルム袋の中心
部にこぶしを押し込む
ようにしてよくもみほ
ぐす。



③水を八分目入れた
SSにICフィルム
を入れる。



④固まりがこし網に
ある場合、残りの
水量の水圧で
流し込む。



③ポリバケツに
倍量の水を入
れて、
ICフィルム
を加えてよく
かき混ぜる。



④タンクに混
合液を入れ、
よくかきま
ぜる。



適用病害虫の範囲及び使用方法(塩基性硫酸銅28.1%、普通物、B類)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
かんきつ	かいよう病	2倍	10ℓ/10a			無人航空機 による散布	—
		25~200倍		—	—	散布	
	黒点病 そうか病	80倍	200~700ℓ /10a				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
かんきつ	ナメクジ類	25~100倍	200~700ℓ /10a	発生前 発生 初期	—	散布	—
	カタツムリ類						
かんきつ (ゆず)	幹腐病	50倍	0.3~0.5ℓ /樹	—	—	散布	—
		2倍					

効果、薬害などの注意

- 石灰硫黄合剤、有機リン剤、マシン油乳剤等を混用すると薬効を減じ、また薬害を起こす原因となるので混用しないこと。
- 散布直後に降雨があると薬害が発生しやすいので注意すること。
- 高温時の散布では、葉及び新梢にホルドー液特有の銅による薬害が発生する場合がありますので注意すること。
- 核果類(もも、うめ、あんず)には薬害を生じる恐れがあるので、生育期にはかからないように注意すること。
- ぶどうの無袋栽培で使用する場合、果房に汚れが生じる恐れがあるので果実肥大期以降の散布は避けること。
- おとうに使用する場合、北光には薬害を生じる恐れがあるので、使用を避けること。また、果実に汚れを生じるので収穫間際の散布は避けること。
- かんきつに使用する場合は次の事項に注意すること。
 - 新梢伸長期には石灰による葉焼けを生じる場合があるので、新梢伸長期にはパラフィン系展着剤を加用すること。
 - 梅雨明け以降の夏季高温時の散布は、薬害(スターメラノーズ)を生じる恐れがあるので使用を避けること。
 - 樹勢の弱い樹や異常低温が予想される場合は、落葉を助長する恐れがあるので使用しないこと。
 - 幹腐病防除に高濃度(2倍)で使用する場合は、枝幹の病斑部に処理をすることとし、葉や果実に薬液がかからないように注意すること。
 - 無人航空機による散布では、新梢伸長期には石灰による葉焼けを生じる場合があるので散布を避けること。
- トマトに使用する場合、果実に汚れが生じる恐れがあるので注意すること。
- びわに使用する場合、幼果期以降収穫までは薬害を生じる恐れがあるので使用しないこと。
- ゆりに使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - 切り花用のゆりには汚れを生じるので、注意すること。
 - オリエンタル系のゆりには、薬害を生じることがあるので使用しないこと。
- アスパラガスに使用する場合、高濃度(50倍)散布では、茎に汚れを生じる恐れがあるので、収穫終了後の散布とすること。
- もものせん孔細菌病防除に使用する場合、薬害を生じる恐れがあるので、開花後から8月未まででは使用しないこと。
- レタス及びはくさいに使用する場合、生育後半の散布及び連用によって薬害を生じる場合があるので注意すること。
- キャベツに使用する場合、結球期以降の散布では汚れを生じる場合があるので注意すること。
- キウイフルーツに使用する場合、発芽後の散布は薬害を生じる恐れがあるので、使用時期を厳守すること。
- いちじくに使用する場合、新根に薬害が発生する恐れがあるので定植1年目までの苗木には使用を避けること。
- ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイには、食害防止を目的として使用すること。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において、事前に薬害や作物への汚れの有無を十分確認してから使用すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

近接散布

農薬散布の前後関係による散布間隔を厳守して下さい。

ICフィルム → 石灰硫黄合剤 2週間

ICフィルム ← 石灰硫黄合剤 10日間

ICフィルム ↔ マシン油乳剤 2週間

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗顔すること。
- 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類、甲殻類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- 使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使い切る。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

貯蔵上の注意

- 乾燥固結しないように密封して貯蔵すること。また凍結するとその物理的性状が劣化するので凍結には十分注意して保管すること。

●ラベルをよく読む。 ●ラベル記載以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。

INOUE
CALCIUM CORPORATION

水で溶かすだけで
すぐ散布できる!
安く簡単
効き目も強い!

ICフィルム

井上石灰工業株式会社

〒783-0060 高知県南国市壺が丘2丁目3番地5 TEL.088-855-9965 FAX.088-880-8808
http://www.inoue-calcium.co.jp